

CHOFU

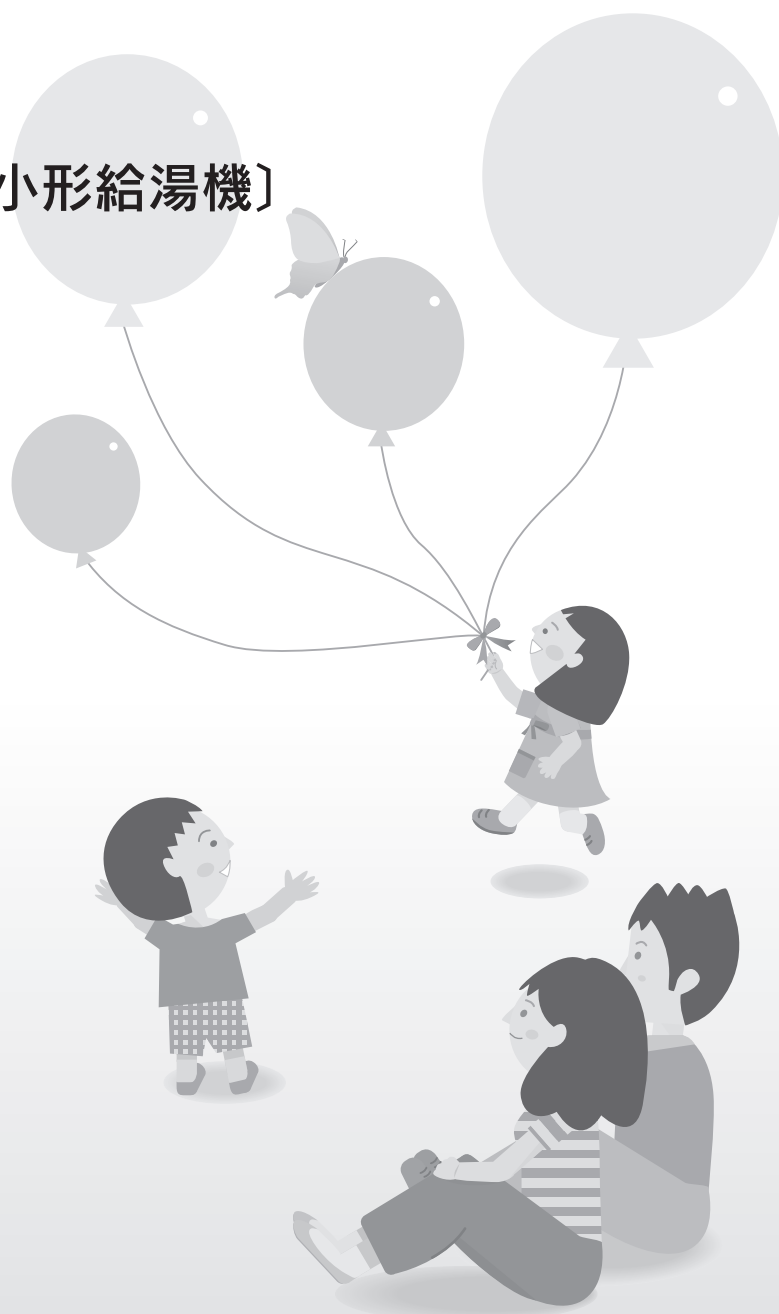
取扱説明書

保証書付

石油瞬間給湯器〔石油小形給湯機〕

型名

IB-3867S



このたびは長府製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

- この機器は、消費生活用製品安全法の『特定保守製品』に指定されています。
ご使用前に、『所有者票』（製品に添付）を返送していただき、所有者登録を行ってください。
- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は大切に保管し、おわかりにならないことや、不具合が生じたときにお役立てください。
- 保証書は販売店からお受け取りになる際に、必要事項が記入されていることを必ず確認してください。
- 製品改良により、本体・仕様などが説明書の内容と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

20932792 (M)

取扱説明書をお読みになる前に

機器の排気タイプを確認してください。

本書では必要な項目で機器の排気タイプを記載して説明しています。
□(太枠)内に✓(チェックマーク)を記入しておくと、今後お読みになるときに役立ちます。



排気タイプ

☐ 強制排気タイプ	☐ 強制通気タイプ	☐ 無煙突タイプ
排気筒の先にエルボトップがついている。 屋内設置の場合は排気筒が屋外に出ています。 排気筒 エルボトップ	排気筒の先にH型トップがついている。 屋内設置の場合は排気筒が屋外に出ています。 H型トップ 排気筒	拡散排気筒がついている。 拡散排気筒

使ってみよう！

お湯を使いたい

給湯温度 ▶ 16・17ページ



困ったときは？

地震や火災が起きた！

▶ 7ページ

凍結を予防したい

▶ 18・19ページ

お手入れは
どうしたらいいの？

▶ 22～24ページ



給湯器の動きが
いつもと違う

▶ 26・27ページ

リモコンにエラーコード
を表示している！

▶ 28・29ページ

も	く	じ	ページ
ご使用の前に	取扱説明書をお読みになる前に		2
	特に注意していただきたいこと		5
	各部の名称(外観図)		12
	リモコンの名称とはたらき		13
	ご使用前の準備と確認		
	(燃料)		14
	(給油)		14
	(油切れ予告装置について)		14
	(点火前の準備と確認)		15
基本の使いかた	シャワーやじゃ口でお湯を使う(給湯温度)		16
必要なときに	冬期の凍結による破損防止について		
	(凍結予防)		18
	(水抜き後の再使用のとき)		20
	(凍結したとき)		21
	長期間使用しない場合		21
	日常の点検・手入れ(点検・手入れの必要事項、時期、方法)		22
	定期点検		25
	法定点検		25
	故障かな?と思ったら		
	(修理を依頼する前に)		26
	(安全装置)		27
	(その他の装置)		27
	(エラーコード)		28
	部品交換について		29
	仕 様		30
	据付け		31
	試運転		31
	保証書		巻末
	アフターサービス		裏表紙

特に注意していただきたいこと

- 本書では、人への危害や財産への損害を未然に防止するため、安全に関する重要な内容を次のように分類して記載していますので、必ずお守りください。

 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容です。	 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。		

- お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。

 禁止 「してはいけない」内容です。	 実行 「しなければならない」内容です。
---	---

 ガソリン厳禁	 濡れ手禁止	 分解禁止	 接触禁止	 一般的な警告・注意
 高温注意	 感電注意	 アースを接続する	 電源プラグを抜く	

- 文中の(○ページ)の数字は参照ページを表します。

警告

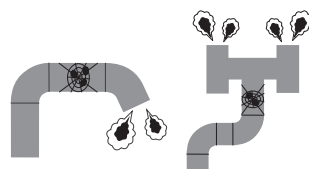
●排気筒はずれ危険(屋内設置の場合)

排気筒がはずれたままで使用しないでください。
はずれていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。
酸欠事故・火災・過熱の原因になります。



●排気筒閉そく危険(屋内設置の場合)

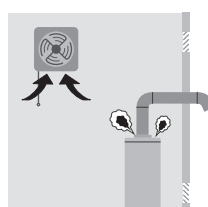
排気筒がつまったり、ふさがれたままで使用しないでください。閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。
酸欠事故・火災・過熱の原因になります。



●換気扇の同時使用禁止

(強制排気タイプ・強制通気タイプで屋内設置の場合 2ページ)

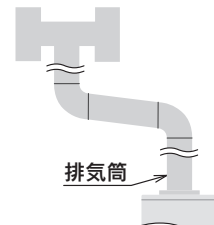
機器を設置した室内に換気扇が設置されている場合、燃烧中に換気扇を使用すると、排ガスが逆流して火災や事故の原因になります。換気口が設置されていてもリモコンの運転スイッチが「入」のときは、換気扇を使用しないでください。



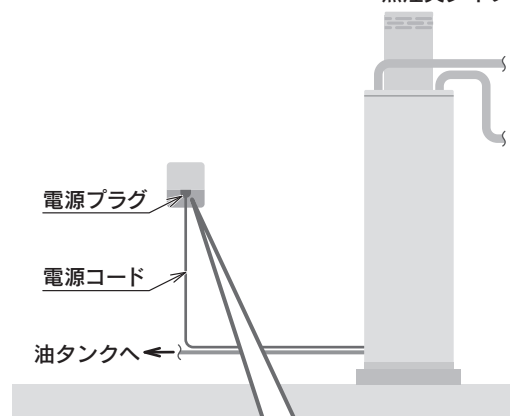
強制排気タイプ



強制通気タイプ



無煙突タイプ



●電源コードは切断して延長しない

電源コードの届く範囲にコンセントがないときは、電力会社の指定工事店に依頼し、所定の電気配線をしてください。絶対に電源コードを切断して延長しないでください。
火災・感電・発熱の原因になります。



特に注意していただきたいこと

警告

高温注意

●シャワー使用中は使用者以外の人がお湯の温度を変えない

使用者以外の人がお湯の温度を変えたり、リモコンの運転スイッチを「切」にしたり、「優先」を切り換えたりすると、突然熱湯や冷水が出て、やけどや思わぬ事故の原因になります。



●入浴時やシャワー使用時は必ず手でお湯の温度を確かめる

太陽熱温水器と接続している場合は、熱いお湯が出る場合がありますので、特に注意してください。やけどのおそれがあります。



●お湯を使用中は温度変化に注意する

以下の場合は一時的に熱いお湯が出る場合がありますので、やけどに注意してください。

- ・お湯を止めた後に再使用するとき
- ・お湯の量を急に少なくしたとき
- ・他の場所で大量に水を使用したとき



●改造・分解禁止

絶対に改造や分解は行わないでください。改造や分解は機器の安全性を損ない、火災・感電・漏電などの思わぬ事故の原因になります。



子どもに注意する

思わぬ事故の原因になります。



●子どもをお風呂にもぐらせない

●子どもを浴室で遊ばせない

●子どもだけで入浴させない



●太陽熱温水器と接続している場合の注意

必ずサーモスタット付混合水栓を使用して、お湯の温度を調節してください。太陽熱温水器のお湯の温度がリモコンの給湯温度より高いときは、熱いお湯が出ることもあり、やけどのおそれがあります。



●ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。



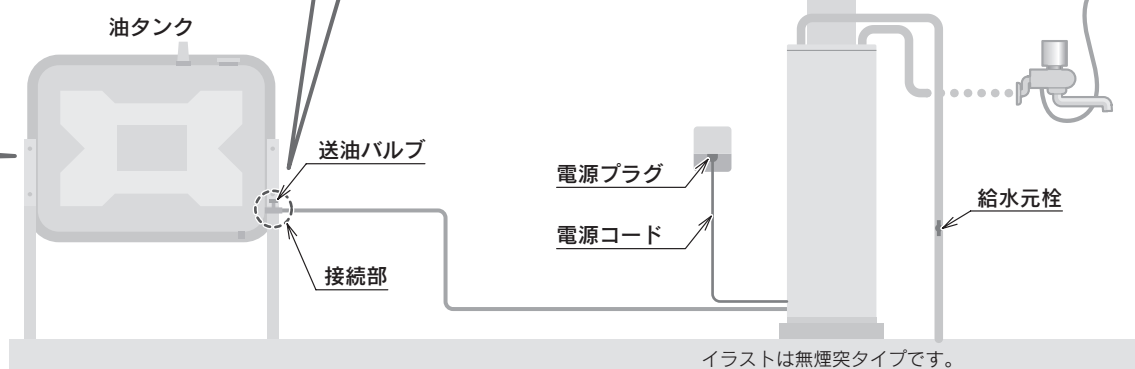
⚠ 注意

地震や火災などの緊急時の処置

1. すぐに使用を中止し、リモコンの運転スイッチを「切」にする
2. 送油バルブ・給水元栓を閉める
3. 電源プラグを抜く
4. 機器の損傷を確認し、お買い求めの販売店に連絡する

●油漏れに注意する

機器や油タンクの送油経路、特に接続部などに油漏れがないことを確認してください。火災の原因になります。



イラストは無煙突タイプです。

異常・故障時使用禁止

使用を続けると事故の原因になります。

1. 以下の場合にはすぐに使用を中止する

- ・ 点火しない、機器が使用中で消火した
- ・ 使用中に異常な臭気・音・温度を感じた
- ・ 多くのススが出る
- ・ 油が漏れている

2. 「故障かな?と思ったら」に従い処置を行う **26～29ページ**

3. 処置を行っても直らない場合は使用を中止し、お買い求めの販売店に連絡する

使用上の注意

●給湯・シャワー以外には使用しない

思わぬ事故の原因になります。

●機器内のお湯を排水するときはやけどに注意

使用直後は熱湯が排水されることがありますので、やけどのおそれがあります。機器内のお湯を排水するときは、運転を停止し機器が冷めてから排水してください。

●純正部品を使用する

当社純正部品を使用しないと事故や故障の原因になります。

●機器の設置・移動・取りはずしおよび付帯工事は、必ずお買い求めの販売店に依頼する

火災・感電・事故の原因になります。

●長期間使用しないとき

「冬期の凍結による破損防止について」の「機器内の水を抜く方法」に従って水抜きを行い、電源プラグを抜いてください。 **19ページ**
火災や思わぬ事故の原因になります。

●おふろのふたに乗ったり手をついたりしない

ふたがはずれておぼれたり、やけどなど思わぬ事故の原因になります。

●家庭用以外の使用禁止

この機器は家庭用です。家庭用以外に使用すると保証の対象外になります。

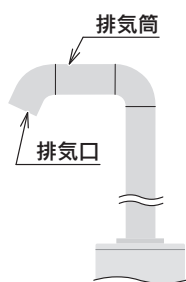
特に注意していただきたいこと

⚠ 注意

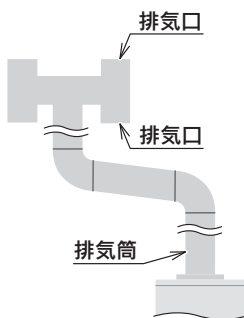
高温部接触禁止

- 燃焼中や消火直後は高温部（機器・排気筒・拡散排気筒）に手など触れない
やけどの原因になります。

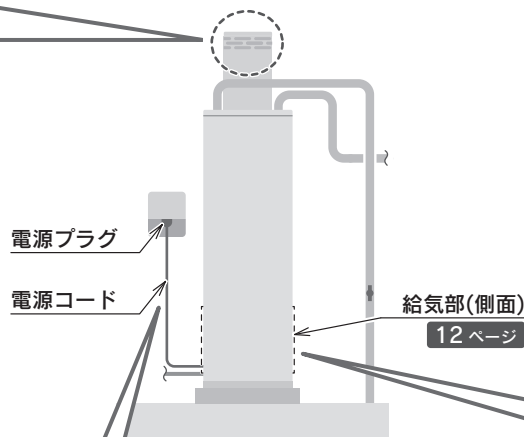
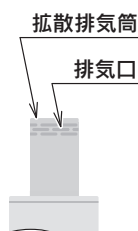
強制排気タイプ



強制通気タイプ

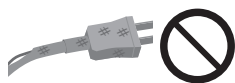


無煙突タイプ



電源コード、電源プラグ、アースについて

- 傷んだ電源プラグや電源コード、緩んだコンセントは使用しない
火災・感電・発熱の原因になります。



- 無理な力を加えない
火災・感電・発熱の原因になります。
・無理に曲げない
・引っ張らない
・物を載せない
・衝撃を与えない



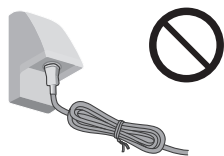
- 傷つけたり、破損させたりしない
火災・感電・発熱の原因になります。



- 電源コードを引っ張って電源プラグを抜かない
火災・感電・発熱の原因になります。



- 電源コードを束ねたまま使用しない
火災や発熱の原因になります。



- 電源プラグを抜いて停止させない
火災や故障の原因になります。



- 電源プラグを濡れた手で触らない
雨が降っているときは電源プラグの抜き差しをしないでください。感電の原因になります。



- 電源プラグのほこりは定期的
にふきとる
リモコンの運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜いてください。ほこりを乾いた布でふいてください。ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。



※バックアップ電源ユニットと接続した場合は、リモコンの運転スイッチを「切」にした後、バックアップ電源ユニットの運転スイッチを「切」にしてから、給湯器の電源プラグおよびバックアップ電源ユニットの電源プラグを抜いてください。
ほこりを乾いた布でふいてください。ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。

- 電源プラグは確実に差し込む
火災・感電・発熱の原因になります。



- アースを確認する
この機器はアースが必要です。アースが接続されていない場合は、お問い合わせの販売店にご連絡ください。感電の原因になります。



⚠ 注意

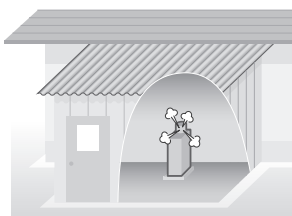
囲い禁止(屋外設置の場合)

不完全燃焼や火災の原因になります。

- 設置後、増改築などにより屋内状態にしない

- 機器や排気口などを波板やビニール、工事に使用した養生シートなどで囲わない

- 外壁工事などで機器全体が養生シートで覆われた場合は、機器を使用しない



イラストは無煙突タイプです。

- 給気部や排気口に指や棒を入れない

けがや事故の原因になります。

可燃物禁止

- 機器の上や周囲に燃えやすい物を置かない

新聞紙・灯油・木材・洗濯物などを置かないでください。火災の原因になります。

- 機器の上や周囲に引火性危険物を置いたり、使用したりしない

爆発や火災の原因になります。

引火性危険物とは、ガソリン・ベンジン・スプレー缶・カセットこんろ用ボンベなどです。

スプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどは熱で缶の圧力が上がり、爆発するおそれがあります。



- 子どもを機器の周囲で遊ばせない

思わぬ事故の原因になります。



- ゴム製送油管の屋外使用禁止

屋外では必ず金属管(銅管など)を使用し、ゴム製送油管は絶対に使用しないでください。ひび割れを生じて油漏れの原因になります。

- 台風通過後の注意

屋外に設置している機器や油タンクは、状態を確認してから使用してください。機器や油タンクが倒れていたり、機器の排気口が物でふさがっていたりすると、正常に作動しくありません。

- もらい錆びに関する注意

機器の周囲で発生した錆が機器外装に付着し、錆びる(もらい錆をする)ことがあります。

特に注意していただきたいこと

お願い

使用上の注意

●機器の近くに電気器具を置かない

テレビの映像が乱れたり、ラジオに雑音が入ることがあります。

●エルボトップの下に物を置かない

エルボトップから排ガス中の水分が結露して滴下することがあります。

下に物などを置かないでください。



●点検・整備のためのサービススペースを確保する

前パネル側は必ず60cm以上あけてください。

工事説明書参照

●高地で使用するときはご相談ください

標高1,000～1,500mの高地で使用するときはお買い求めの販売店にご相談ください。

標高1,500mを超える場所では使用できません。
燃焼不良の原因になります。

●地下水・井戸水使用時の注意

水道水の使用をおすすめしますが、地下水や井戸水も使用できます。

ただし、地下水や井戸水を給水したことにより発生した析出物(炭酸カルシウムなど)に起因する故障修理は、保証期間内でも有料になります。

●温泉水は使用しない

温泉水を使用すると、水質によっては故障することがあります。この場合の修理は保証期間内でも有料になります。

●リモコンの運転スイッチが「切」のときは給湯栓を開けない

リモコンの運転スイッチが「切」のときに給湯栓を開けて大量の水やシャワーを使用すると、機器内の通水部が結露して機器の寿命を縮める原因になります。

●冬期の入浴について

冬期など浴室や脱衣室と居室の温度差が大きいときは、急激な温度変化による身体への悪影響(ヒートショック)により、特に高齢者のかたは入浴事故につながるおそれがあります。

入浴前に暖房機器で浴室と脱衣室を暖めてください。
浴室で利用できる暖房機器がない場合でも、お風呂にふたをしないでお湯はりをしたり、シャワーでお湯を流したりして浴室を暖めることができます。

以下の場合取扱説明書に従って処置を行う

●リモコンにエラーコードを表示したとき

28・29ページ

処置を行わないで何度もリセットを繰り返さないでください。火災や事故の原因になります。

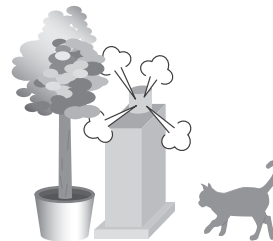
●凍結のおそれがあるとき

18・19ページ

冬期には急な寒波のため機器や配管が凍結して破損することがありますので、凍結予防の処置を行ってください。
凍結により機器が破損した場合の修理は保証期間内でも有料になります。

排ガスについて

●植物やペットなど、排ガスによって悪影響を受ける物を周囲に置かない



●排ガスを直接、建物の外壁・窓・ガラス・アルミサッシや塗装部分にあてない

変色・破損・腐食の原因になります。

混合水栓について

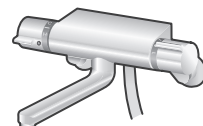
●通水抵抗が少ない物、シャワーヘッドの圧力損失が少ない物を使用する

出湯量減少の原因になります。

●水圧が低い地域では泡沫水栓・浄水器を使用しない

●やけど防止のため、サーモスタット付混合水栓の使用を推奨する

2ハンドル混合水栓やシングルレバー混合水栓を使用しているときは、熱いお湯が出て、やけどの原因になります。

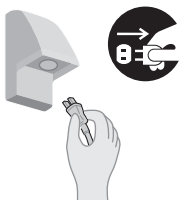


お願い

雷発生時の注意

- 雷が鳴りはじめたらリモコンの運転スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜く

雷による一時的な過電圧で電子部品を損傷する原因になることがあります。



- 雷がやんだ後は、電源プラグが濡れていないことを確認してコンセントに差し込む

電源プラグを濡れた手で触らないでください。感電の原因になることがあります。



リモコンの注意

- 子どもにいたずらさせない
事故や故障の原因になります。
- 分解したり乱暴に扱ったりしない
故障の原因になります。
- 台所リモコンに水や水しぶきをかけない
炊飯器や電気ポットなどの湯気にも注意してください。
故障の原因になります。
- 掃除のときは、ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・ガラスクリーナー・塩素系カビ洗浄剤・酸性浴室用洗剤を使用しない
印刷や塗装のはがれ・傷・変色などの原因になります。

積雪時の注意

- 点検・除雪を行う

積雪や屋根から落ちた雪により給気部や排気口がふさがれないように点検・除雪を行ってください。

雪でふさがれるおそれがある場所に設置されている場合は、給排気に影響がないように防雪処置を行ってください。



機器内のお湯(水)について

- 機器や配管に長時間たまった水や朝一番のお湯は、飲用や調理に使用しない
水質の変化により健康を害する原因になります。雑用水として使用してください。
- 飲用したり調理に使用するときには沸騰させてから使用する
 - ・必ず水道法に定められた飲用水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
 - ・熱いお湯が出てくるまでの水(配管にたまっている水)は、雑用水として使用してください。
 - ・固形物・変色・濁り・異臭があった場合は飲用しないですぐにお買い求めの販売店へ点検を依頼してください。

断水時の注意

- 断水したときは運転を停止し、給湯栓を閉める
給湯栓を開けたままにしておくと、断水復帰後に水が流れ続けます。
- 断水復帰直後のお湯は飲用や調理に使用しない
飲用や調理に適さない水が配管にとどまる場合がありますので、断水復帰後は給湯栓を開けて充分水を流してから使用してください。

停電時の注意

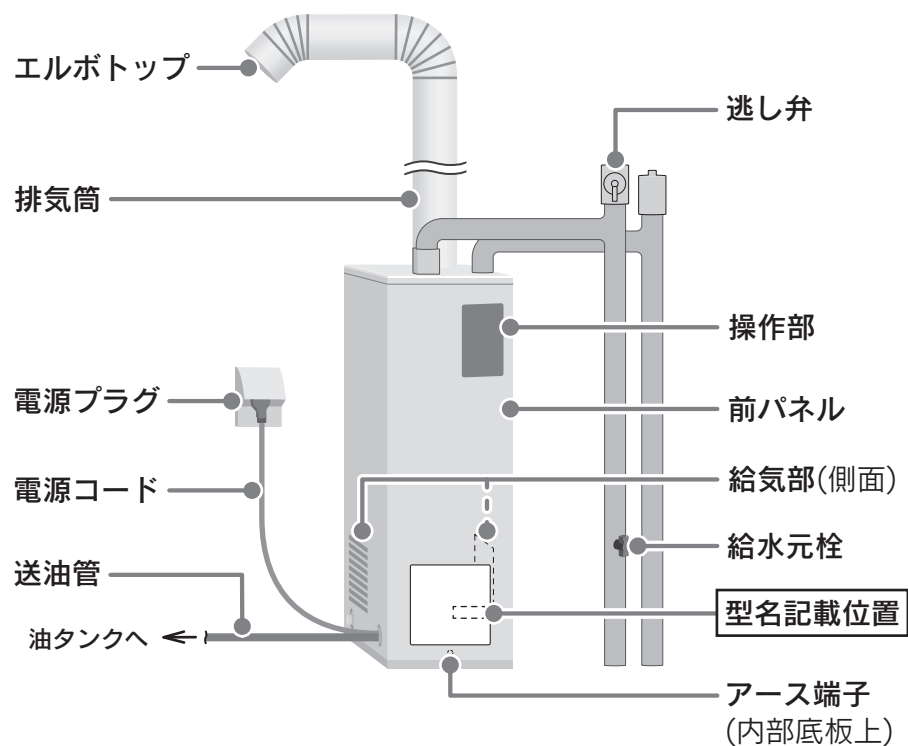
- 停電したときは給湯栓を閉める
停電すると運転が停止します。停電復帰後はリモコンの運転スイッチを「入」にして使用してください。
- 冬期に停電したとき
凍結により機器が破損するおそれがありますので、「冬期の凍結による破損防止について」の「じゃ口から水を流す方法」または「機器内の水を抜く方法」を参考にして凍結予防を行ってください。 **18・19ページ**

各部の名称

外観図

イラストはイメージです。

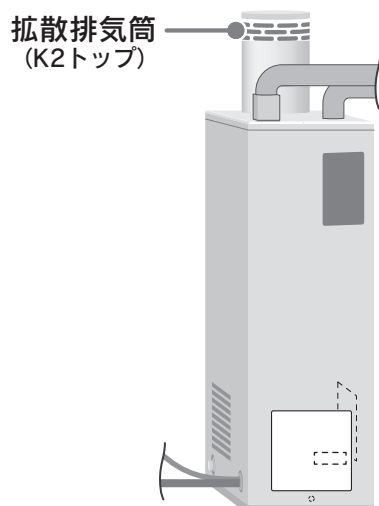
強制排気タイプ(屋内外設置) 2ページ ※排気筒(エルボトップ)取付時



強制通気タイプ(屋内外設置) 2ページ ※排気筒(H型トップ)取付時

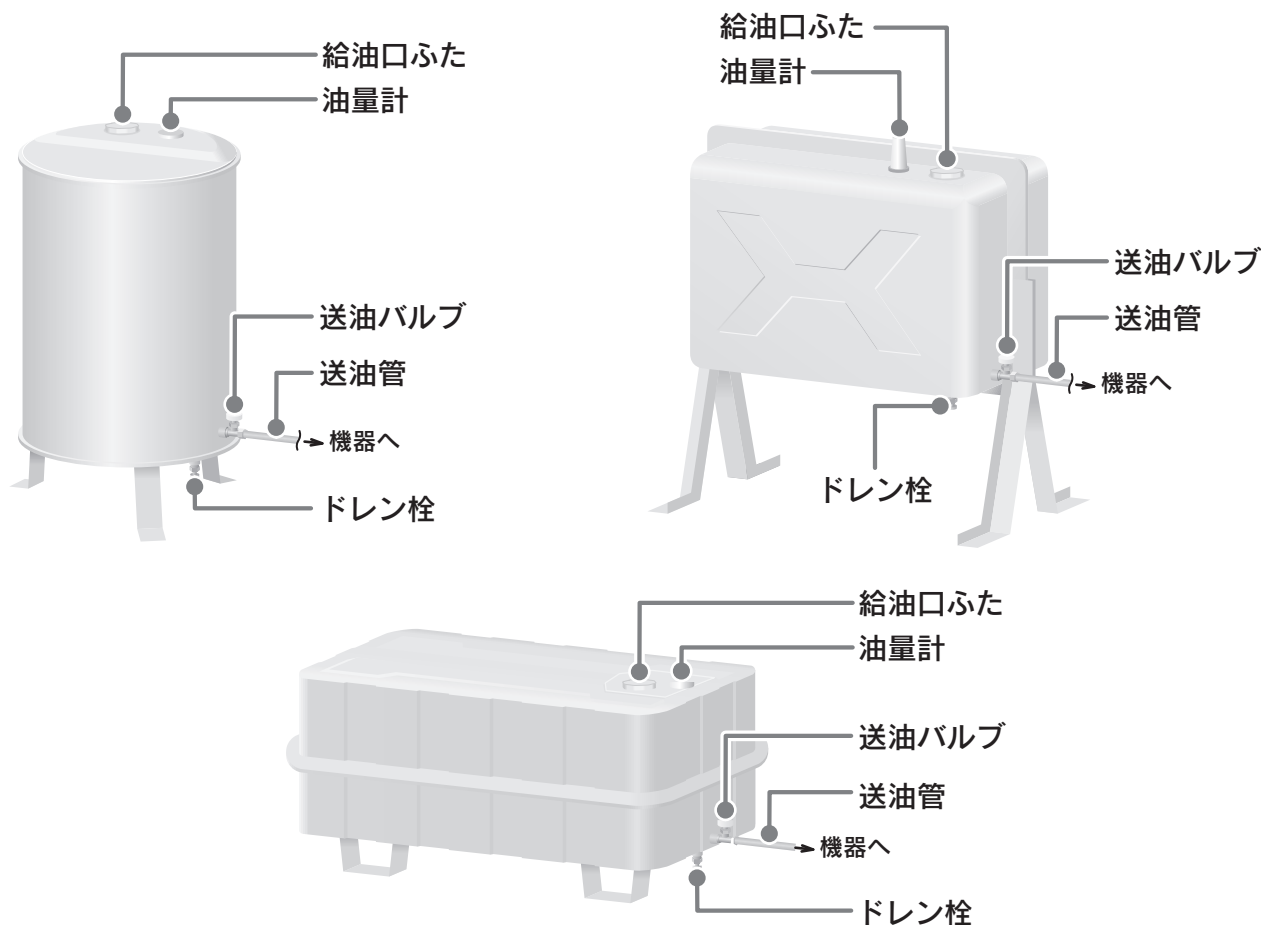


無煙突タイプ(屋外設置) 2ページ ※拡散排気筒(K2トップ)取付時



油タンク(別売部品)

- 別売の油タンクは3種類の形状があります。
(部品の位置は油タンクにより異なる場合があります。)



リモコンの名称とはたらき

優先ランプ

⊖⊕で給湯温度が設定できるときに点灯します。

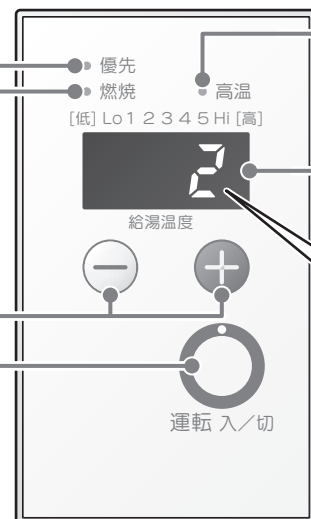
燃焼ランプ

バーナーが燃焼中に点灯します。
(機器に異常が生じた場合は点滅します。)

給湯温度調節スイッチ

⊕…温度を高くする
⊖…温度を低くする

運転スイッチ



高温ランプ

給湯温度を「5」以上に設定したときに点灯します。

表示部

給湯温度(7段階)を表示します。

エラーコード表示

機器に異常が生じた場合は3桁の数字が点滅します。
「エラーコード」に従って処置してください。 28・29ページ



表示部は説明のためのもので実際とは異なります。

ご使用前の準備と確認

燃料

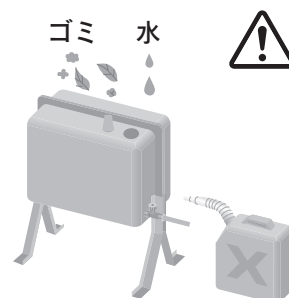
警告

- ガソリン・ベンジン・シンナー・重油・軽油やその他の物が混入した灯油は火災や故障の原因になりますので、絶対に使用しないでください。
- 燃料は必ず灯油(JIS1号灯油)を使用してください。

給油

給油の際の注意

- 必ずリモコンの運転スイッチを「切」にしてから行ってください。
- 水やゴミなどが入らないように特に注意してください。
- 給油後は給油口ふたを確実に閉め、灯油がこぼれたときはふきとってください。



燃料切れに注意

注意

- 頻繁に燃料切れを起こしリセットを繰り返すと、バーナーの性能低下により多くのススが出て、建物の壁などを汚すおそれがあります。
- 燃料切れを起こさないように、こまめに灯油の残量を確認して早めの給油を心がけてください。

燃料切れをしたときは

給油してください。すぐに給油できないときは、リモコンの運転スイッチを「切」にしてください。

- 燃料切れをしたときは、リモコンに「110」または「120」のエラーコードを表示します。 **28・29ページ**

給油後にリセットすると、送油経路の空気が抜けて燃焼を再開します。

(送油経路の空気が抜けるまでは振動音が出たり、リモコンに「110」または「120」のエラーコードを表示して停止したりしますが故障ではありません。連続燃焼するまでリセット操作を行ってください。)

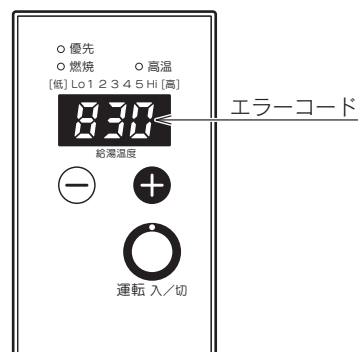
- 2、3回リセットしても直らないときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。
約8回リセットを繰り返すと、お客様によるリセットができなくなりますので注意してください。

リセットの方法

リモコンの運転スイッチを「切」にしてから、再度「入」にします。

油切れ予告装置(別売部品)について

- 油タンクに複数の機器を接続している場合でも使用できます。
- 油切れ予告装置を取り付けると台所リモコンで給油の時期を確認することができます。
- 灯油の残量が少なくなると、リモコンにエラーコード「830」を表示してお知らせします。「830」を表示しても機器はすぐに停止しません。すみやかに給油してください。



点火前の準備と確認

1 機器および周囲の確認をする

機器本体・排気筒・拡散排気筒・油タンクの上や周囲に燃えやすい物や引火性危険物、また排ガスによって悪影響を受ける物を置かないでください。**9・10ページ**
排気口・給気部がふさがれていないことを確認してください。**22ページ**



※イラストは無煙突タイプです。

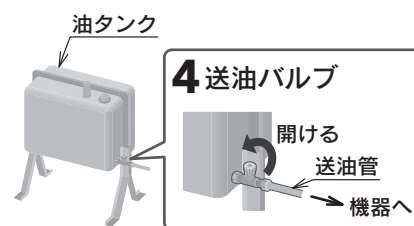
2 給水元栓を開ける

機器や接続部から水漏れしていないことを確認してください。

3 給湯栓を開け、水が出ることを確認してから閉める

4 油タンクの送油バルブを開ける

油タンクや送油管の接続部などから油漏れがないことを確認してください。

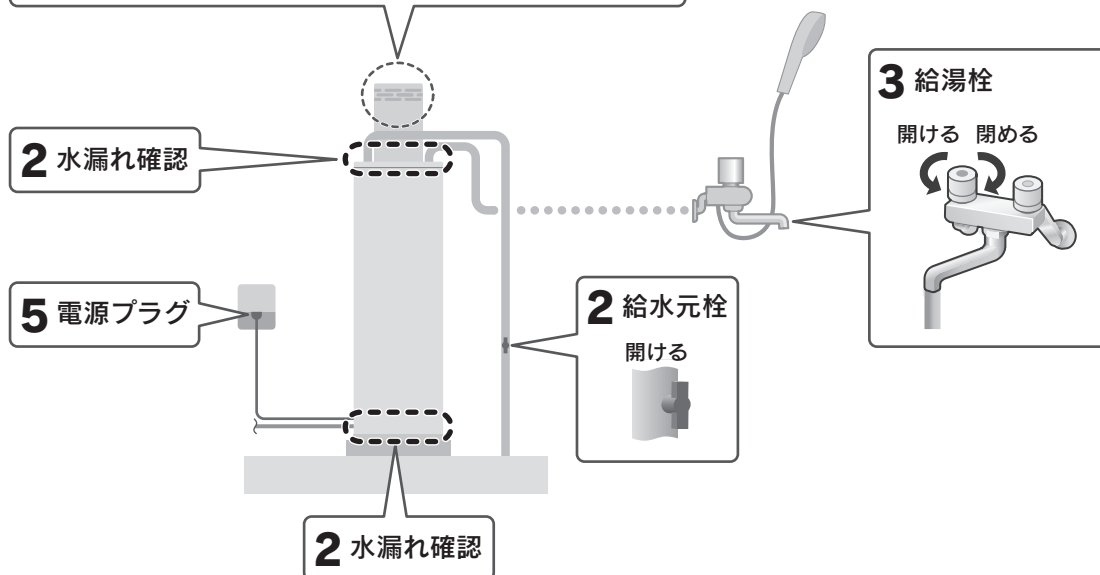
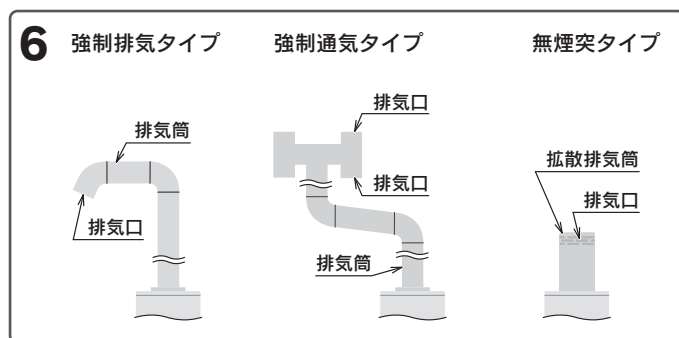


5 電源プラグを差し込む

この機器の電源はAC100Vです。AC200Vに接続すると機器が破損します。

6 排気筒を確認する

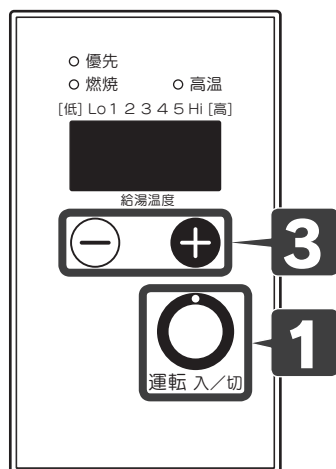
排気筒の接続部に緩みやはずれがないことを確認してください。
緩みやはずれがあるときはお買い求めの販売店に点検を依頼してください。



シャワーやじゃ口でお湯を使う

給湯温度

シャワーやじゃ口から出るお湯の温度を設定します。



1 運転 入/切 を押して「入」にする

運転 入/切

- 運転スイッチが「入」になると、リモコンの運転ランプが点灯します。



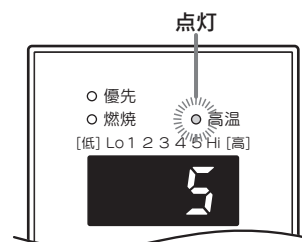
- 優先ランプが点灯します。

増設(防水形増設)リモコンを取り付けている場合

- 増設(防水形増設)リモコンの運転ランプも点灯します。

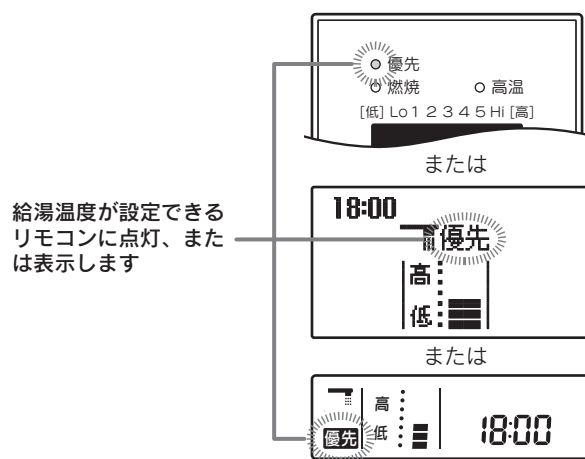
給湯温度が「5」以上に設定されている場合

すべてのリモコンの高温ランプが点灯し、ブザーが「ピピッ」と鳴ってお知らせします。



2 優先を確認する [増設(防水形増設)リモコンを取り付けている場合]

- 優先ランプが点灯(または「優先」を表示)したリモコンのみ給湯温度の設定ができます。



リモコンの優先について

- 台所・洗面所・浴室などには同じ温度のお湯が供給されています。お湯を使用中に他の場所で給湯温度を変更すると、やけどなどの事故につながるため、優先ランプが点灯または「優先」を表示したリモコンのみ給湯温度の変更ができますようになっています。

「優先」になっていないリモコンを優先にする方法

- 増設(防水形増設)リモコンの優先スイッチを押してください。(台所リモコンには優先スイッチがありません。)

「優先」を切り換えると、「優先」になったリモコンの給湯温度をすべてのリモコンに表示します。
このとき給湯温度が変わると、操作をしていないリモコンでブザーが「ピピッ」と鳴ってお知らせします。

給湯温度のめやす

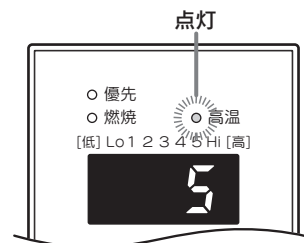
高 Hi	→ 75℃
・ 5	→ 60℃
・ 4	→ 50℃
・ 3	→ 45℃
・ 2	→ 40℃
・ 1	→ 35℃
低 Lo	→ 15℃

3 ①または②を押して給湯温度を設定する

設定範囲

Lo~Hiの7段階(約15~75℃)

- 給湯温度を「5」以上に設定した場合は、高温ランプが点灯します。



増設(防水形増設)リモコンを取り付けている場合

- すべてのリモコンが同じ温度になります。
- 給湯温度を変更すると、操作していないリモコンでブザーが「ピピッ」と鳴ってお知らせします。
また、6段以上に設定した場合は、すべてのリモコンで高温ランプが点灯します。

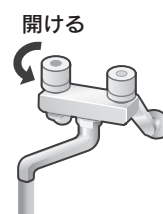
バーナーが点火して燃焼している間は、リモコンの燃焼ランプが点灯します。

この給湯器は機器内にお湯をためています。バーナーは、お湯の使用や自然放熱などにより機器内のお湯の温度が下がると自動的に点火し、設定温度になると消火します。



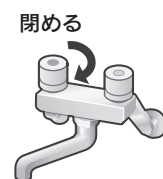
4 給湯栓を開ける(お湯を出す)

- 給湯栓と給湯器が離れている場合は、お湯になるまでに時間がかかることがあります。



5 給湯栓を閉める(お湯を止める)

- 長時間使用しないときは運転スイッチを「切」にしてください。



やけどに注意！

- お湯を使用する前は、リモコンで給湯温度を確認してください。
- シャワーを使用する前は、手でお湯の温度を確認してください。
- 給湯温度の変更、「優先」の切り換え、運転スイッチを「切」にするときは、他の場所で使用していないことを確認してから行ってください。特にシャワー使用中は注意してください。
- 停電時や故障時でもお湯が出ることがありますので、やけどに注意してください。

お知らせ

- サーモスタット付混合水栓を使用しているときは、お湯の温度を安定させるため、リモコンの給湯温度を混合水栓の設定温度より約10℃高めに設定してください。([給湯温度のめやす]参照)
- しゃ口から出るお湯の温度は配管・給水温度・流量により変化しますので、お湯の温度を確認してから使用してください。
- 給湯温度のめやすは、給水温度約20℃、出湯量毎時約600リットルの場合です。

お湯の温度と量のめやす

- お湯の量は「仕様」の「給湯量」を参照してください。 30ページ

冬期の凍結による破損防止について

- 冬期には急な寒波のため機器や配管が凍結して破損することがありますので、凍結予防の処置を行ってください。
(凍結により機器が破損した場合の修理は、保証期間内でも有料になります。)

凍結予防

凍結予防には「バーナーを運転させる方法」、「じゃ口から水を流す方法」、「機器内の水を抜く方法」があります。

バーナーを運転させる方法

冷え込みが厳しいときはバーナーを運転させ、機器内の給水経路の凍結を予防します。

1 給湯栓を閉める

2 リモコンの運転スイッチを「入」にする

3 給湯温度をLoに設定する

特に冷え込みが厳しいと予想される日は、給湯温度をHiに設定しリモコンの燃焼表示が消灯するまで燃焼させたのち、Loに設定してください。

お知らせ

- 配管やバルブなどの凍結予防はできませんので十分に保温してください。
- バーナーを運転する前に凍結していないことを確認してください。凍結したまま運転すると機器が破損するおそれがあります。
(リモコンの運転スイッチを「切」にして給湯栓を開けてください。お湯が出れば凍結していません。)
(確認後、リモコンの運転スイッチを「入」にしてください。)

じゃ口から水を流す方法

冷え込みが厳しく風が強いときは、じゃ口から少量の水を流して給水・給湯配管やバルブなどの凍結を予防します。

1 リモコンの運転スイッチを「切」にする ※運転スイッチが「入」のとき

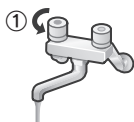
2 給湯栓を開ける

じゃ口から毎分約400cc(約4mm)の水を流したままにします。



●2ハンドル混合水栓

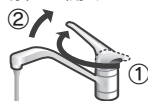
①給湯栓を開ける



●シングルレバー混合水栓

①湯側いっぱいに戻す

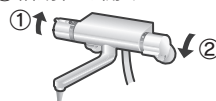
②給湯栓を開ける



●サーモスタット付混合水栓

①最高温度にする

②給湯栓を開ける



イラストはイメージです。水栓メーカーにより形状が異なります。

3 30分後に水の量を確認する

流量が不安定なことがあるため確認を行います。

お知らせ

- 水を流すじゃ口は屋内1箇所にかまいません。
お風呂に水をためると洗濯などの雑用水として使用できますのでムダになりません。
(お風呂にじゃ口が届かない場合は、じゃ口で流量を確認した後、シャワーに切り換えてお風呂に流してください。)

機器内の水を抜く方法(冬期に長期間使用しないとき)

長期間使用しないときやじゃ口から水を流さずに電源プラグを抜くときは、この方法で行ってください。
この方法では配管やバルブなどの凍結予防はできませんが、機器には最も適した方法です。

⚠ 注意

●使用直後は熱湯が排水されることがありますので、やけどのおそれがあります。
機器内のお湯を排水するときは、運転を停止し機器が冷めてから排水してください。

1 リモコンの運転スイッチを「切」にする ※運転スイッチが「入」のとき

2 2分間以上経過してから電源プラグを抜く

3 給水元栓を閉める

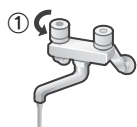
4 缶体排水栓(バルブ)を開ける

5 すべての給湯栓(シャワーなどを含む)を開ける

水抜き終了後、給湯栓は再使用するときまで開けたままにしてください。

●2ハンドル混合水栓

①給湯栓を開ける



●シングルレバー混合水栓

①湯側いっぱいに戻す

②給湯栓を開ける



●サーモスタット付混合水栓

①最高温度にする

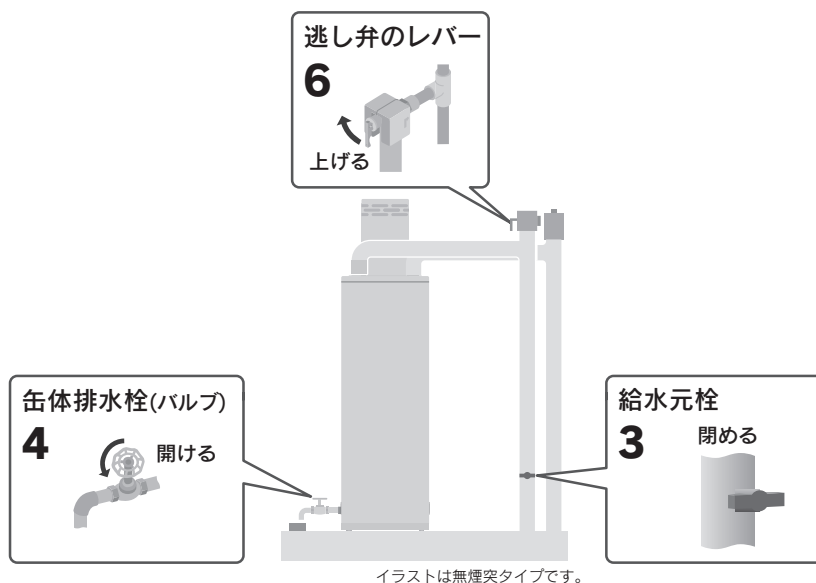
②給湯栓を開ける



イラストはイメージです。
水栓メーカーにより形状が異なります。

6 逃し弁のレバーを上げる

水が出ますので、機器を屋内に設置している場合は受皿などを準備して水を受けてください。
(出てくる水の量は機器内の残水や配管などの条件によって異なります。)



お知らせ

●再使用するときは「水抜き後の再使用のとき」に従ってください。 20ページ

冬期の凍結による破損防止について

水抜き後の再使用のとき

1 缶体排水栓(バルブ)を閉める

2 逃し弁のレバーを下げる

3 給水元栓を開ける

4 すべての給湯栓から水が出ることを確認して閉める

水が出にくい場合は凍結していることがありますので、水が正常に出ようになってから運転してください。

確認せずに使用すると機器が破損することがあります。

●2ハンドル混合水栓

①給湯栓を開ける / 閉める



●シングルレバー混合水栓

①湯側いっぱいにする
②給湯栓を開ける / 閉める



●サーモスタット付混合水栓

①最高温度にする
②給湯栓を開ける / 閉める

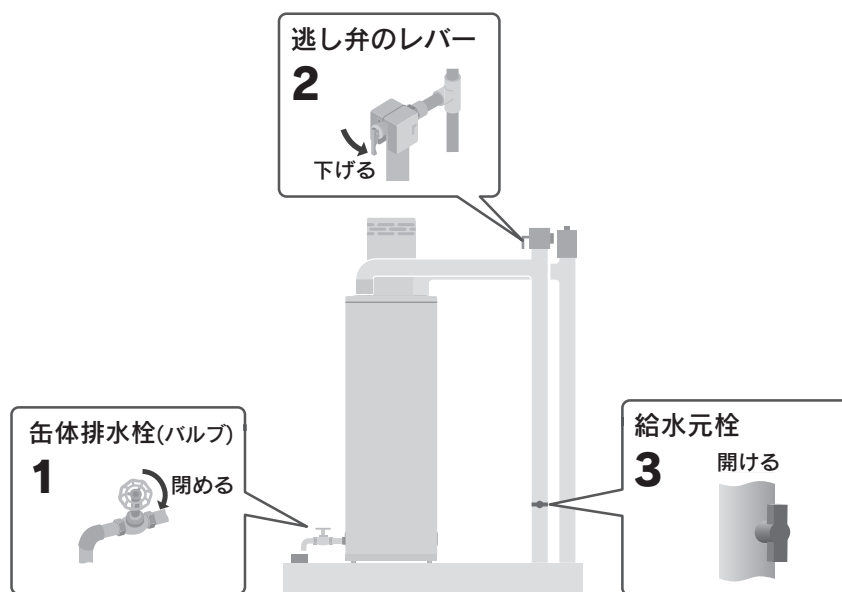


イラストはイメージです。水栓メーカーにより形状が異なります。

5 電源プラグを差し込む



6 「点火前の準備と確認」(15ページ)と「シャワーやじゃ口でお湯を使う」(16・17ページ)に従って使用する



イラストは無煙突タイプです。

凍結したとき

給湯栓を開けてもお湯も水も出ません。自然解凍するまでお待ちください。
解けて水が出るまでは、以下の手順に従ってください。

1 リモコンの運転スイッチを「切」にする

※運転スイッチが「入」のとき

2 ときどき給湯栓を開ける

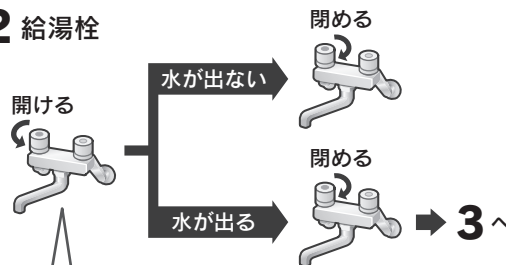
〈じゃ口から水が出ない場合〉

まだ凍結しています。給湯栓を閉め、時間をおいて再度**2**を行ってください。

〈じゃ口から水が出た場合〉

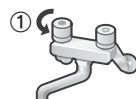
給湯栓を閉めて**3**を行ってください。

2 給湯栓



●2ハンドル混合水栓

①給湯栓を開ける



●シングルレバー混合水栓

①湯側いっぱいに戻す

②給湯栓を開ける



●サーモスタット付混合水栓

①最高温度にする

②給湯栓を開ける



イラストはイメージです。水栓メーカーにより形状が異なります。

3 すべての給水栓と給湯栓を閉め、水道メーターが回っていないことを確認する

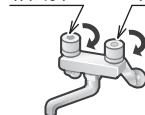
給水・給湯配管が凍結すると、機器や配管が破損することがあります。

水道メーターが回っている場合は水漏れの可能性がありますので、お買い求めの販売店にご連絡ください。

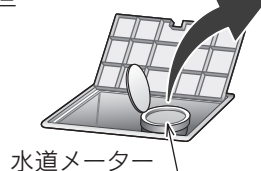
4 「点火前の準備と確認」(15ページ)と「シャワーやじゃ口でお湯を使う」(16・17ページ)に従って使用する

3 閉める

給湯栓 給水栓

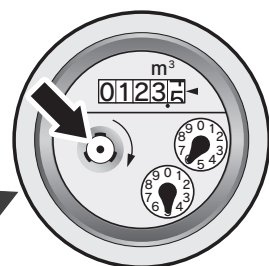


給水栓



水道メーター

回っていないこと



イラストはイメージです。

長期間使用しない場合

●長期間使用しない場合は「冬の凍結による破損防止について」の「機器内の水を抜く方法」に従って水抜きを行ってください。19ページ

日常の点検・手入れ

点検・手入れのときの注意

⚠ 注意

- 運転音の確認以外は必ず運転を停止し、機器が冷めてから電源プラグを抜いて行ってください。
- 金属部に充分注意してください。けがの原因になることがあります。
- 手袋などの保護具を着用してください。
- 部品の分解・調整は絶対にしないでください。
- 異常がある場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。

点検・手入れの必要事項、時期、方法

毎日

油漏れ、油のたまり、油のにじみ

機器や油タンクの送油経路、特に接続部などから油漏れ、油のたまり、油のにじみがないことを確認してください。

周囲の可燃物

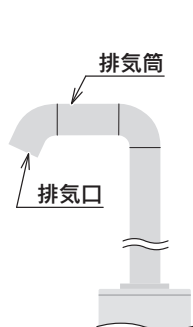
機器・排気筒・拡散排気筒・油タンクの周囲に引火性危険物や燃えやすい物がないことを確認してください。

排気筒・拡散排気筒の接続部の緩み、外観

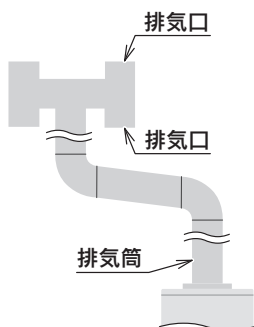
排気筒の接続部分や拡散排気筒に緩みがないこと、また多くのススがついていないことを確認してください。

緩んでいたり、多くのススがついていたりするときはお買い求めの販売店に点検を依頼してください。

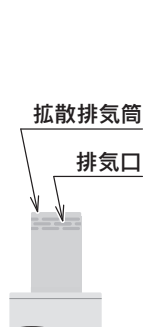
強制排気タイプ



強制通気タイプ



無煙突タイプ

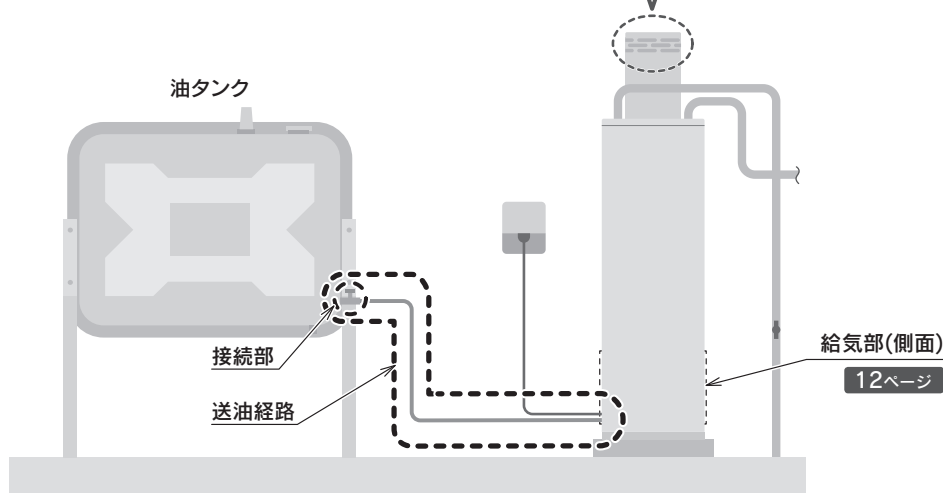


機器外観

- 排気口・給気部・排水配管の先端
ゴミやほこりでふさがれていないことを確認してください。
- 外装
部分的に変色していないこと、また錆びて穴が開いていないことなどを確認してください。

運転音

運転中に機器から異常な音がしていないことを確認してください。



適時に

積雪時の注意

積雪や屋根から落ちた雪により給気部や排気口がふさがれないように点検・除雪を行ってください。
雪でふさがれるおそれがある場所に設置されている場合は、給排気に影響がないように防雪処置を行ってください。



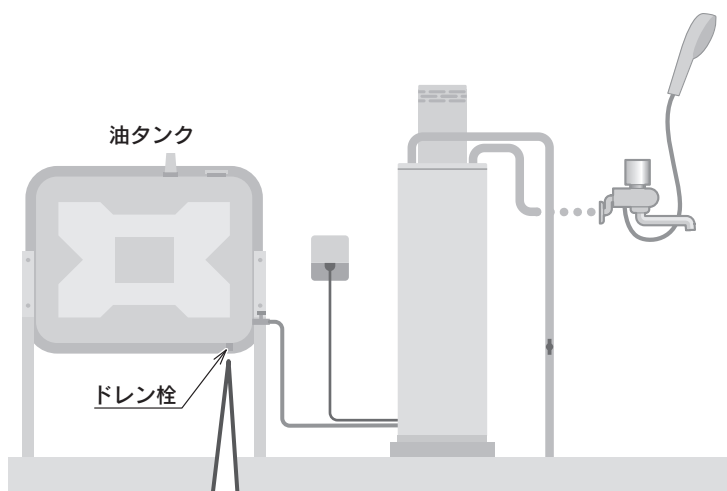
リモコン

水や化学ぞうきんなどは使わず、柔らかい布でからぶきしてください。
ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・ガラスクリーナーなどは使用しないでください。印刷や塗装のはがれ、傷の原因になります。
また、塩素系カビ洗浄剤や酸性浴室用洗剤は使用しないでください。変色などの原因になります。

水漏れ

機器や配管などから水漏れしていないことを確認してください。

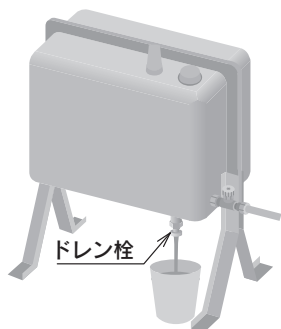
1年に1回以上



イラストは無煙突タイプです。

油タンク

油タンクの底に結露した水がたまります。
ドレン栓を開けて抜きとってください。
(ドレン栓の形状はタンクによって異なります。)



油ストレーナ(機器内部)の点検

油ストレーナに水やゴミがたまることがあります。点検には分解作業が必要ですので、お買い求めの販売店に依頼してください。

ほこり

機器外面のほこりや汚れは、布またはスポンジに中性洗剤をつけてふきとってください。

日常の点検・手入れ

1年に1回以上

給湯熱交換器の掃除

給湯熱交換器に湯あかがたまるとお湯の沸き上げに時間がかかりますので、定期的に掃除してください。

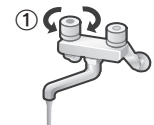
- 1 リモコンの運転スイッチを「切」にする ※運転スイッチが「入」のとき
- 2 給湯栓を開け、じゃ口から出るお湯が水になったら閉める
出始めのお湯は熱いことがあります。やけどに注意してください。
- 3 電源プラグを抜く
- 4 給水元栓を閉める
- 5 機器の缶体排水栓(バルブ)と屋内の給湯栓を1箇所開ける
- 6 逃し弁のレバーを上げて、給湯熱交換器内の水を排水する
- 7 給湯熱交換器内の水の排水が終了したら、逃し弁のレバーを下げる
- 8 給水元栓を開ける
- 9 缶体排水栓(バルブ)からきれいな水が出てきたら、缶体排水栓(バルブ)を閉める
- 10 給湯栓から水が連続的に出てきたら、給湯栓を閉める
はじめは空気混じりの水が出ます。
- 11 電源プラグを差し込む

給湯栓

2
5
10

●2ハンドル混合水栓

①給湯栓を開ける/閉める



●シングルレバー混合水栓

①湯側いっぱいに戻す

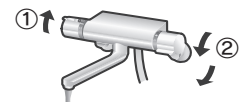
②給湯栓を開ける/閉める



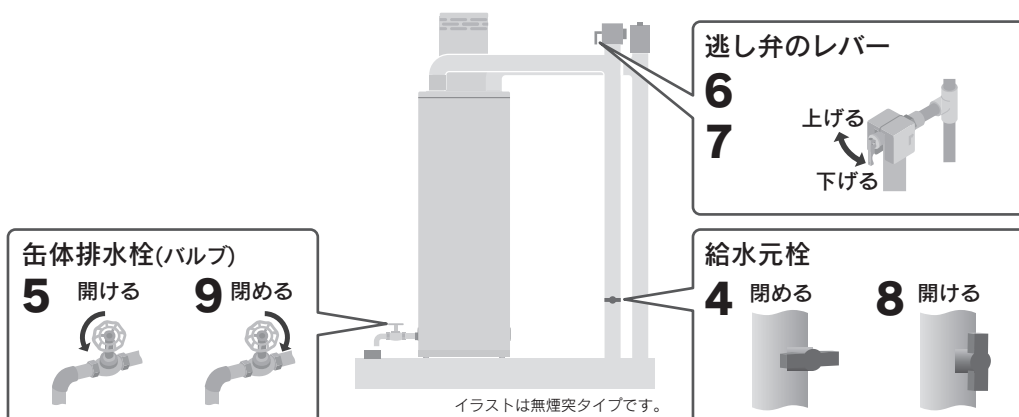
●サーモスタット付混合水栓

①最高温度にする

②給湯栓を開ける/閉める



イラストはイメージです。
水栓メーカーにより形状が異なります。



定期点検

- 長期間ご使用になりますと、機器の点検が必要になります。
- 機器を安心して長くご使用いただくために、1年に1回程度は定期点検を受けることをおすすめします。
- 定期点検はお買い求めの販売店にご相談ください。
(定期点検は有料です。)

法定点検

- この機器は消費生活用製品安全法により点検期間に法定点検(有料)を受けていただくことが求められています。
(製品の所有者などの責務：消安法第32条の14)
- この機器の設計標準使用期間10年の前後それぞれ1年間(製造後9年から11年)を法定点検時期と設定しています。
ご登録いただいた所有者情報に基づき、法定点検期間の直前に弊社より点検通知を送付いたしますので、添付のはがき(所有者票)に必要事項をご記入のうえ、必ず返送してください。
- 詳しくは「特定保守製品についての説明書」をご覧ください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に

故障ではない場合がありますので、修理を依頼する前にもう一度確認してください。

こんなときは		確認してください
シャワーやじゃ口	お湯も水も出ない	●断水していませんか。 ●給水元栓が全開になっていますか。 ●配管が凍結していませんか。凍結が解消するまでお待ちください。 21ページ
	給湯栓を開けてもお湯が出ない お湯の出が悪い	●燃料切れしていませんか。給油してください。 14ページ ●リモコンの運転スイッチが「入」になっていますか。 ●給湯栓のフィルタにごみなどがつまっていますか。掃除してください。 ●サーモスタット付混合水栓のシャワーの勢いが弱いときは、リモコンの給湯温度を高くするとシャワーの勢いが強くなります。
	お湯が出なくなった	●燃料切れしていませんか。給油してください。 14ページ ●安全装置の作動が考えられます。 27ページ ●リモコンにエラーコードを表示している場合は「エラーコード」に従って処置を行ってください。 28・29ページ ・対震自動消火装置の場合 「100」を表示します。 ・燃焼制御装置の場合 「110」・「120」・「130」のいずれかを表示します。 「130」を表示した場合は、リモコンの運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。 ・過熱防止装置の場合 「150」・「151」・「160」のいずれかを表示します。この場合は、リモコンの運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。
	給湯栓を開けてもすぐにお湯にならない	●配管内に残っている水が出てくることがあります。お湯が出るまでしばらくお待ちください。
	お湯がぬるい (設定した温度にならない)	●リモコンの給湯温度はめやすです。配管の放熱により、設定温度よりも低くなる場合があります。 ●サーモスタット付混合水栓を使用しているときは、お湯の温度を安定させるため、リモコンの給湯温度を混合水栓の設定温度より約10℃高めに設定して使用してください。 ●1箇所のみ混合水栓のお湯の温度が設定した給湯温度にならないときは、混合水栓の故障が考えられます。
	お湯の温度が上下したり水になったりする お湯の量が増減する	●次の場合が考えられます。 ・お湯を出したり止めたりを繰り返したとき。 ・2箇所以上でお湯を使用したとき。 ・水道の圧力が変動していたとき。
	低温のお湯が出ない	●太陽熱温水器と接続している場合は、太陽熱温水器のお湯が給水されるため、低温のお湯が出ない場合があります。
	高温のお湯が出ない	●給湯温度の設定が低くなっていますか。
	給湯温度が変更できない	●操作しているリモコンが優先になっていますか。優先を切り換えてください。
	お湯が白く見える	●水に溶けていた空気が機器内で加熱され、温度や水圧などの条件が重なったときに、細かい気泡となって出てくる自然現象です。ビールの泡のようなもので、体には無害です。
シャワーやじゃ口	浴そうのお湯(水)が青く見える	●光の波長の関係で浴そうやお湯(水)が青く見えることがあります。
	浴そうや洗面用具などが青くなる	●配管(銅配管)から溶け出したわずかな銅イオンと、石けんなどに含まれる脂肪酸が反応して浴そうや洗面用具などが青くなることがありますが、異常ではありません。(使いはじめに発生しやすく、時間の経過とともに発生しにくくなります。汚れを放置すると取れにくくなるので、こまめに掃除してください。汚れが取れにくい場合は、中性洗剤を使用するか、つけ置き洗いをすると効果的です。その後、水で十分に洗い流してください。)

	こんなときは	確認してください
機器	排気口から湯気が出る	●排ガスが水蒸気を多く含んでいるため、冷たい外気に触れて白く見えることがあります。
	燃焼表示が消えてもしばらくの間機器から音が出る	●機器内の排ガスを排出するため、送風機がしばらくの間動きます。
	燃料を切らした後、給油しても火がつかない	●「燃料切れをしたときは」に従って、送油経路の空気抜きを行ってください。 14ページ
リモコン	何も表示しない 運転スイッチが「入」にならない	●停電していませんか。 ●電源プラグが差し込まれていますか。 ●その他の装置(電流ヒューズ)の作動が考えられます。 27ページ 電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。
	表面が熱く感じる	●使用中は表示部が点灯しますので、熱く感じる場合があります。リモコンの運転スイッチを「切」にしている場合でも電子回路が動いているので熱く感じる場合があります。

安全装置

安全装置	はたらき
対震自動消火装置	地震や強い振動、衝撃を受けたときに作動して運転を停止します。
燃焼制御装置	バーナーが点火しないとき・使用中に炎が消えたとき・異常な燃焼をしたときに作動して運転を停止します。
停電安全装置	使用中に停電したり、電源プラグが抜けたりしたときに作動して運転を停止します。
過熱防止装置	機器内のお湯の温度が異常に上昇したときに作動して運転を停止します。

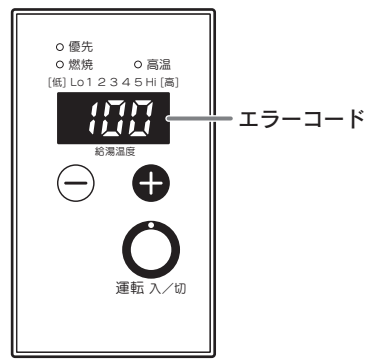
その他の装置

その他の装置	はたらき
電流ヒューズ	万一内部配線のショートや部品の故障などで過電流が流れたときに、作動して運転を停止します。
送風機ヒューズ	
油切れ予告装置 (別売部品)	灯油の残量が少なくなると、リモコンにエラーコードを表示してお知らせします。

故障かな？と思ったら

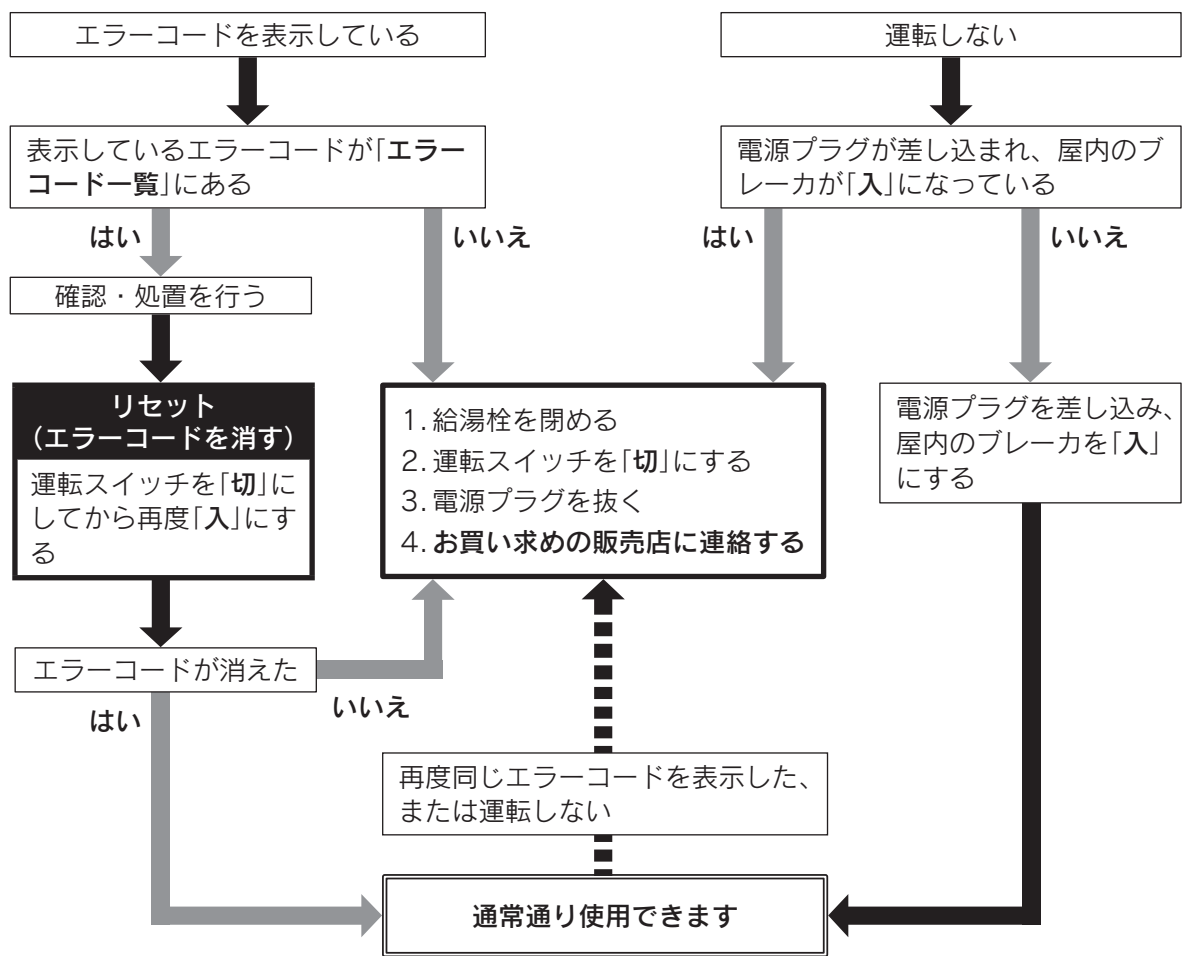
エラーコード 異常・故障の場合はリモコンにエラーコードを表示します。

エラーコード表示位置 表示部は説明のためのもので実際とは異なります。



リモコンにエラーコードを表示したとき/機器が運転しないとき

●以下の処置を行ってください。



エラーコード一覧

- 記載していないエラーコードを表示したときは、使用を中止してお買い求めの販売店にご連絡ください。
 (「リモコンにエラーコードを表示したとき/機器が運転しないとき」参照。 **28ページ**)

エラーコード	説 明	確 認・処 置
090	接続している太陽熱利用給湯システムの異常を検知した (警告表示)	太陽熱利用給湯システムの取扱説明書に従って処置してください。
100	地震や強い振動・衝撃があった	機器および周囲に異常がないことを確認してください。
110	着火できない	油タンクに灯油があることを確認してください。 油タンクの送油バルブが充分開いていることを確認してください。 (燃料切れをしていた場合は、給油後リセットを2、3回行ってください。 約8回リセットを繰り返すと、お客様によるリセットができなくなりますので 注意してください。 14ページ)
120	燃焼中に火が消えた	
740 750 760	通信異常	電源プラグを差し直してください。 (リセットの必要はありません。)
830	灯油の残量が少ない (警告表示) (別売のOC-31を取付時)	油タンクに灯油を入れてください。
888	設計標準使用期間経過 (警告表示)	10年相当ご使用されたため、「点検時期をお知らせする機能」が働いてお知らせをしています。(故障ではありません。) 使用はできますが、安全のためお早めに点検(有料)を受けてください。 連 絡 先：株式会社長府製作所  電話 0120-921-971 (通話料無料) 受付時間：(平日) 9：00～17：00 ※年末年始を除く

■警告表示について

エラーコードを表示していても機器は使用できますが、すみやかに確認・処置を行ってください。

運転中に誤作動したときは

- 万一運転中に雷、自動車無線などで誤作動したり、動かなくなったりしたときは電源プラグをコンセントから抜き、数秒後に再度差し込み、リモコンの運転スイッチを「入」にしてください。

部品交換について

部品交換が必要になったときは、お買い求めの販売店に依頼してください

- 部品は必ず当社純正部品を使用してください。
- 故障したままで使用しないでください。
- 故障して修理が必要なときは、お買い求めの販売店に依頼してください。

仕 様

型名			IB-3867S		
型式の呼び			IB-3867		
種類			圧力噴霧式・貯湯式急速加熱形・水道直結式(減圧弁・逃し弁必要) 屋外用開放形・屋内外用半密閉式強制排気形・屋内外用半密閉式強制通気形・家庭用		
点火方式			高圧放電式		
使用燃料			灯油(JIS1号灯油)		
燃料消費量			43.2kW(4.20L/h)		
連続給湯効率			87.5%		
連続給湯出力			37.8kW(32,500kcal/h)		
給湯量(※)	お湯の温度	45℃	1,300L/h		
		50℃	1,080L/h		
		60℃	810L/h		
		75℃	590L/h		
熱交換器容量			11.5L		
使用圧力(最高使用圧力)			0.1MPa(1.0kgf/cm ²)		
伝熱面積			0.84m ²		
外形寸法			高さ 866mm 幅 256mm 奥行 515mm		
質量(満水時)			25kg(36.5kg)		
電源電圧及び周波数			100V 60Hz		
定格消費電力	点火時		100W		
	燃焼時		75W		
待機時消費電力			1.7W		
排気温度			260℃以下		
排気筒の呼び径			106		
騒音レベル			45dB		
電流ヒューズ			10A		
送風機ヒューズ			3A		
安全装置			対震自動消火装置・燃焼制御装置・停電安全装置・過熱防止装置		
その他の装置			電流ヒューズ・送風機ヒューズ・油切れ予告装置(別売部品)		
付属品			プラグ(1/2)・送油管・転倒防止金具・膜付グロメット・取扱説明書(保証書付)・工事説明書・所有者票袋		
区分名(省エネ法)			II		
エネルギー消費効率(モード)			78.0%		

※水道水の温度が20℃のとき沸き上げ可能な最大量のめやすです。給湯量は給水温度・混合水栓・配管などの条件より変動します。

据付け

据付工事は販売店に依頼する

- 据付けや移動工事は買い求めの販売店または据付業者に依頼し、お客様ご自身で行わないでください。

据付場所の選定および標準据付例

- 据付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。工事説明書の「特に注意していただきたいこと」をお読みになり、買い求めの販売店または据付業者とよくご相談ください。
また、「標準据付例」については工事説明書を参照してください。

騒音防止について

- 設置場所の選び方次第で騒音は大きく変わります。
騒音公害とならないよう充分配慮して設置場所を選定してください。

転居または機器を移設するとき

- 転居するときには買い求めの販売店にご相談ください。
- 移設は買い求めの販売店に依頼し、お客様ご自身で行わないでください。

据付け後の確認

- 据付けが終わりましたら、工事説明書の「特に注意していただきたいこと」をお読みになり、工事説明書に記載されている通りに据え付けられていることをもう一度確認してください。

試運転

- 工事説明書の「試運転」に従って行ってください。

●このページは空白です。

長府石油瞬間給湯器保証書(販売店様控)

型 名	IB-3867S		
★製造番号	No.	保証期間	1 年
★お買い上げ日	年 月 日	★販 売 店	住所・店名 電話 ()
★お 客 様	お名前 様		
	ご住所 電話 ()		

★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずお確かめください。

-販売店様へお願い-

- (1)保証書(販売店様控)及び次のページの保証書(お客様控)の★印欄に必ず必要事項をご記入の上、保証書(販売店様控)は切り取り線より切り取って保管し、次のページの保証書(お客様控)は本取扱説明書とともにお客様にお渡しください。
※カーボン紙を差し込んで次のページに複写してください。
- (2)保証書(販売店様控)に記載したお客様の個人情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のため以外には使用しないでください。

修理メモ

長府石油瞬間給湯器保証書(お客様控)

本書は当製品に故障が発生した場合、お買い上げ日より表記期間中、本書記載内容に従って無料修理をお約束するものです。修理を依頼される場合は、お買い求めの販売店に必ず本書をご提示ください。

型 名	IB-3867S		
★製造番号	No.	保証期間	1 年
★お買い上げ日	年 月 日	★販売店	住所・店名 電話 ()
★お客様	お名前 様		
	ご住所 電話 ()		

★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずお確かめください。

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、当製品を無料で修理致します。お買い求めの販売店にご相談ください。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い求めの販売店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。なお、離島及び離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居の場合は事前にお買い求めの販売店にご相談ください。
- ご贈答品等で本書に記入してあるお買い求めの販売店に修理がご依頼できない場合には、裏表紙記載のフリーダイヤルへご相談ください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 本書の提示がない場合、または必要事項の記載がない場合、字句を書き換えられた場合は有料修理になります。

●次の場合は保証期間内でも有料修理になります。

- (1) 住宅用途以外で使用した場合の不具合
- (2) 使用者が適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する不具合
- (3) 一般家庭用以外に使用したことに起因する不具合
- (4) 専門業者以外による修理、改造等に起因する不具合
- (5) 弊社が定める工事説明書等に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解等に起因する不具合
- (6) 建築躯体の変形等、住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合、塗装の色あせ等の経年変化、または使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象
- (7) 海岸付近、温泉地等の地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
- (8) 動物や昆虫等の行為、及び植物の侵入等に起因する不具合
- (9) 火災・爆発・凍結等の事故、台風・落雷・地震・噴火・洪水・津波等の天変地異、または戦争・暴動等の破壊行為による不具合
- (10) 消耗部品の消耗に起因する不具合
- (11) 給水・給湯・ふろ・暖房配管等の錆や異物流入に起因する不具合
- (12) 温泉水を給水したことに起因する不具合
- (13) 地下水・井戸水を給水したことにより発生した析出物(炭酸カルシウムなど)に起因する不具合
- (14) 公害による不具合
- (15) 電気・水・燃料等の供給トラブルに起因する不具合
- (16) 指定規格以外の電気・燃料・熱媒等を使用したことに起因する不具合

修理メモ

●お客様へ

- この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い求めの販売店、または裏表紙記載のフリーダイヤルにお問い合わせください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動、及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

株式会社 長府製作所 〒752-8555 山口県下関市長府扇町2-1 ☎(083)248-1111

アフターサービス

修理を依頼するとき

●「故障かな？と思ったら」[26～29ページ](#)をもう一度確認していただき、直らないときは保証書(前ページ)に記載の
お買い求めの販売店にご連絡ください。

- 修理を依頼するときは、お買い上げ日と右の内容をお知らせください。
- 修理料金は①技術料+②部品代+③出張料などで構成されています。
 - ①診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・試運転などの作業にかかる料金です。
 - ②修理に使用した部品代金です。
 - ③製品のある場所に技術者を派遣するための料金です。

品名	石油瞬間給湯器
型名	IB-3867S
故障の状況	できるだけ詳しく
お名前・ご住所・電話番号・訪問ご希望日	

保証・修理について

- この機器には「保証書」がついています。正常な使用状態において故障した場合には、保証書の規定に従って修理いたします。お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 家庭用の給湯以外の特殊な使用方法での不具合発生につきましては、保証の対象外となりますのでご注意ください。
- 凍結や析出物(炭酸カルシウムなど)による故障の場合は、保証期間内でも有料になります。

補修用性能部品について

- 補修用性能部品の保有期間は、この製品の製造打ち切り後11年です。
性能部品とは製品の機能を維持するために必要な部品です。

一般のお客様から
のお問い合わせは、
フリーダイヤルへ



0120-925-339

携帯電話からは **0570-666-339**
(通話料金がかかります)

お客様から取得いたしました個人情報は、お客様へのお問い合わせ対応を目的として利用し、適切に管理します。修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。

※電話番号をよくお確かめのうえ、おかけ間違いのないようにお願いします。

修理に関する
お問い合わせ

24時間365日受付

商品に関する
お問い合わせ

平日 8:10～18:00
土日祝 8:10～17:00

愛情点検



こんな症状は
ありませんか

- 水漏れや油漏れがある。
- 煙が出たり、灯油の臭いがする。
- 運転中にこげくさい臭いがする。
- 異常な音や振動がする。
- その他の異常や故障がある。



ご使用中止

故障や事故防止のため、運転を停止して電源プラグを抜き、送油バルブと給水元栓を閉めて、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。

住宅設備機器総合メーカー
株式会社 長府製作所

CHOFU

本社 〒752-8555 山口県下関市長府扇町2-1